

# 設置届の場合

変更届出の場合は、変更のある部分について、別紙に  
**変更前**及び**変更後**の内容を対照させて記載してください

様式第3

該当するもの以外は二重線で消してください

一般粉じん発生施設設置(使用、~~変更~~)届出書

提出日を記載してください

該当する環境管理事務所名又は市名を  
記載してください  
(管轄はパンフレットを参照してください)

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(宛先)

埼玉県〇〇環境管理事務所長

氏名又は名称、住所を記載してください  
(※法人の場合は、本社の名称、住所、代表者の氏名)

届出者

〒330-9301  
さいたま市浦和区高砂3-15-1  
〇〇工業株式会社  
代表取締役社長 埼玉太郎  
(電話番号 048-824-2111)

該当するもの以外は二重線で消してください

大気汚染防止法第18条第1項(第18条第3項、~~第18条の2第1項~~)の規定により、一般粉じん発生施設について、次のとおり届け出ます。

一般粉じん発生施設を設置する工場名、支店名、  
ビル名等を記載してください

工場又は事業場の名称	〇〇工業(株) ◇◇事業所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 ◇◇市□□110	※受理	施設の項番号(大気汚染防止法施行令別表第2参照)及び種類を記載してください(※パンフレット参照)
一般粉じん発生施設の種類	2項 土石の堆積場	※施設	例 1項 コークス炉 3項 ベルトコンベア 4項 破砕機
一般粉じん発生施設の構造並びに使用及び管理の方法	別紙1から別紙4のとおり。	※審査結果	
		※備考	

- 備考
- 1 一般粉じん発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第2に掲げる項番号及び名称を記載すること。
  - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

設置届出 → 着手予定年月日、使用開始予定年月日  
 使用届出 → 設置年月日  
 変更届出 → 設置年月日、着手予定年月日、  
 使用開始年月日  
 をそれぞれ記載してください

一般粉じん発生施設(堆積場)の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		1	
名称及び型式		第1堆積場	
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
模規	面積(m <sup>2</sup> )	2,000	比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記載してください
	堆積能力(t)	30,000	
堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量(t/年)		比重 2g/cm <sup>3</sup> 砂 0.3 mm以下 水分7% 70,000 t/年	
使用及び管理の方法	堆積場がその中に設置されている建築物の概要		
	散	装置の種類・型式・基数	スプリンクラー・A001・30基
		装置の能力(m <sup>3</sup> /h)	15 m <sup>3</sup> /h × 30基
水	散水の方法	10 L/t 常時散水	実施の量(たとえば散水の場合は水量(L/t)、実施頻度等を記載してください)
防じんカバーの設置状況			
薬液	薬液の種類・名称		
	装置の種類・型式・基数		
	装置の能力(m <sup>3</sup> /h)		
布	散布の方法		
	装置の種類・型式		
締固め	方 法		ブルドーザーによる
	その他	方 法	高さ2 mのブロック壁で囲う

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
  - 2 堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量の欄には比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記載すること。
  - 3 散水の方法、薬液散布の方法、締固めの方法及びその他の方法の欄には、実施の量(たとえば散水の場合は水量L/t)、実施頻度等を記載すること。
  - 4 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
  - 5 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの飛散防止のための装置の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。